



2023年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月11日

上場会社名 理研コランダム株式会社
 コード番号 5395 URL <http://www.rikencorundum.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 富美雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石川 和男
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 048-596-4411

(百万円四捨五入)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	1,056	11.2	54	67.5	57	242.1	43	3.3
2022年12月期第1四半期	950	9.1	32		17	38.8	41	507.3

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 26百万円 (%) 2022年12月期第1四半期 40百万円 (68.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	46.46	
2022年12月期第1四半期	44.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	6,422	4,767	74.2
2022年12月期	6,680	4,819	72.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 4,767百万円 2022年12月期 4,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		30.00		50.00	80.00
2023年12月期					
2023年12月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年12月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 特別配当 20円00銭

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,081	5.8	60	53.9	67	82.5	47	94.1	50.98
通期	4,246	6.0	148	114.6	164	254.0	114	84.2	123.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	922,128 株	2022年12月期	922,128 株
期末自己株式数	2023年12月期1Q	13,370 株	2022年12月期	170 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	917,233 株	2022年12月期1Q	922,032 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績様相などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に弱さがみられるものの、景気は緩やかに持ち直しています。設備投資は持ち直しているものの、輸出や生産は弱含んでいます。企業収益は総じてみれば改善していますが、そのテンポは緩やかになっています。また、企業の業況判断は持ち直しの動きがみられます。先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されます。ただし、世界的な金融引き締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

このようななか、当社グループの売上については、半導体向けの研磨材の売上が大幅に伸長したことにより、売上高は1,056,237千円(前年同期比11.2%増)となりました。

また利益面においては、売上高増による粗利の増加に加え、年金資産の時価評価増により退職給付費用が減少したことから、営業利益53,587千円(前年同期比67.5%増)となり、経常利益については前第1四半期連結累計期間において計上した持分法による投資損失がなくなったことから、当第1四半期連結累計期間は改善し56,802千円(前年同期比242.1%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益については前第1四半期連結累計期間に理研精密器材(蘇州)有限公司の清算による為替換算調整勘定取崩益計上から一巡したことにより42,617千円(前年同期比3.3%増)となりました。

セグメントの概況は、以下のとおりであります。

(研磨布紙等製造販売事業)

当社グループの中核事業である研磨布紙等製造販売事業の当第1四半期連結累計期間の業況は、特に木工用の研磨布紙が得意先の在庫調整により減少しましたが、半導体向けの研磨材の売上が大幅に伸長したことから売上高は923,551千円(前年同期比16.4%増)となり、売上高増による粗利の増加に加え、年金資産の時価評価増により退職給付費用が減少したことから、営業利益は61,905千円(前年同期比31.0%増)となりました。

(OA器材部材等製造販売事業)

事務機器に組み込まれる紙送り用各種ローラー部品の受注生産をしているOA器材部材等製造販売事業の当第1四半期連結累計期間の業況は、得意先の一部部材の調達難による生産調整が続いており、売上高が減少したことから98,034千円(前年同期比19.5%減)となり、営業利益は製造の習熟度が改善したことにより原価率が低減したことから、22,413千円(前年同期比10.8%増)となりました。

(不動産賃貸事業)

イオンリテール株式会社に賃貸しております土地の賃貸収入の売上は34,652千円(前年同期と同額)となり、営業利益は28,009千円(前年同期比0.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ257,188千円減少し、6,422,392千円になりました。これは主に、法人税等の支払いにより現金及び預金が271,208千円減少したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ205,057千円減少し、1,655,462千円になりました。これは主に、法人税等の支払いにより未払法人税等が209,767千円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ52,132千円減少し、4,766,929千円になりました。これは主に、自己株式取得により自己株式勘定が31,566千円減少、投資有価証券の時価評価の減少によりその他有価証券評価差額金が19,372千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年2月14日に公表いたしました予想と変更はございません。今後も情報収集に努め、業績への重大な影響が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,371,832	1,100,624
受取手形及び売掛金	667,323	646,622
電子記録債権	218,806	218,528
商品及び製品	524,393	551,532
仕掛品	446,083	454,685
原材料及び貯蔵品	131,286	135,424
その他	24,221	21,578
貸倒引当金	△3,400	△3,399
流動資産合計	3,380,544	3,125,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,041,612	2,055,895
減価償却累計額	△1,323,553	△1,335,341
建物及び構築物(純額)	718,060	720,554
機械装置及び運搬具	1,584,551	1,602,774
減価償却累計額	△1,334,235	△1,351,000
機械装置及び運搬具(純額)	250,317	251,774
土地	328,763	328,763
建設仮勘定	97,592	116,548
その他	486,406	495,261
減価償却累計額	△381,701	△391,213
その他(純額)	104,705	104,048
有形固定資産合計	1,499,437	1,521,687
無形固定資産	41,115	45,607
投資その他の資産		
投資有価証券	433,610	405,737
長期性預金	1,300,000	1,300,000
その他	24,873	23,765
投資その他の資産合計	1,758,483	1,729,502
固定資産合計	3,299,035	3,296,796
資産合計	6,679,579	6,422,392

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	399,367	454,935
電子記録債務	378,700	359,264
設備関係支払手形	14,035	29,816
設備電子記録債務	85,942	68,109
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	44,000	23,000
リース債務	19,164	18,604
未払法人税等	219,464	9,697
賞与引当金	—	39,663
資産除去債務	15,500	15,500
その他	214,271	179,713
流動負債合計	1,590,443	1,398,301
固定負債		
リース債務	63,844	64,843
繰延税金負債	75,445	74,296
退職給付に係る負債	56,395	43,970
長期預り金	60,752	60,752
資産除去債務	10,000	10,000
その他	3,640	3,300
固定負債合計	270,076	257,162
負債合計	1,860,519	1,655,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	89,675	89,675
利益剰余金	4,035,729	4,032,248
自己株式	△354	△31,920
株主資本合計	4,625,049	4,590,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186,021	166,649
繰延ヘッジ損益	△2,670	△361
為替換算調整勘定	10,660	10,638
その他の包括利益累計額合計	194,011	176,927
純資産合計	4,819,061	4,766,929
負債純資産合計	6,679,579	6,422,392

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	949,694	1,056,237
売上原価	744,083	842,455
売上総利益	205,611	213,783
販売費及び一般管理費	173,612	160,196
営業利益	31,999	53,587
営業外収益		
為替差益	23,276	2,823
その他	1,556	2,146
営業外収益合計	24,832	4,969
営業外費用		
持分法による投資損失	38,515	—
支払利息	1,434	1,206
その他	278	546
営業外費用合計	40,227	1,753
経常利益	16,604	56,802
特別利益		
為替換算調整勘定取崩益	19,331	—
特別利益合計	19,331	—
特別損失		
子会社整理損	2,597	—
工場再編費用	—	1,010
特別損失合計	2,597	1,010
税金等調整前四半期純利益	33,339	55,792
法人税、住民税及び事業税	21,000	6,836
法人税等調整額	△28,903	6,340
法人税等合計	△7,903	13,176
四半期純利益	41,242	42,617
親会社株主に帰属する四半期純利益	41,242	42,617

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	41,242	42,617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,622	△19,372
繰延ヘッジ損益	1,001	2,309
為替換算調整勘定	△129,567	△21
持分法適用会社に対する持分相当額	107,039	—
その他の包括利益合計	△905	△17,084
四半期包括利益	40,337	25,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,337	25,533
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2023年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式13,200株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が31,566千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が31,920千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

(i) 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基盤として合理的な方法により算定する方法によっております。

(ii) 繰延税金資産及び繰延税負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	研磨布紙等 製造販売事業	OA器材部材等 製造販売事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	793,284	121,759	34,652	949,694	—	949,694
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	793,284	121,759	34,652	949,694	—	949,694
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	793,284	121,759	34,652	949,694	—	949,694
セグメント利益	47,271	20,232	27,896	95,399	△63,400	31,999

(注) 1. セグメント利益の調整額△63,400千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	研磨布紙等 製造販売事業	OA器材部材等 製造販売事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	923,551	98,034	34,652	1,056,237	—	1,056,237
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	923,551	98,034	34,652	1,056,237	—	1,056,237
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	923,551	98,034	34,652	1,056,237	—	1,056,237
セグメント利益	61,905	22,413	28,009	112,327	△58,740	53,587

(注) 1. セグメント利益の調整額△58,740千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。